



2007年3月期 決算説明会資料

資料

2007年5月16日



東洋水産株式会社



連結決算概要

(単位:百万円)

	07.3期計画	07.3期実績	計画比	06.3期実績
売上高	330,000	321,356	97.3%	325,679
営業利益	20,000	19,570	97.8%	19,935
経常利益	21,200	21,546	101.8%	21,151
当期純利益	6,400	6,176	96.5%	13,813

[ポイント] 1. 売上高(実績)

国内即席麺の下期暖冬による売り上げ減。

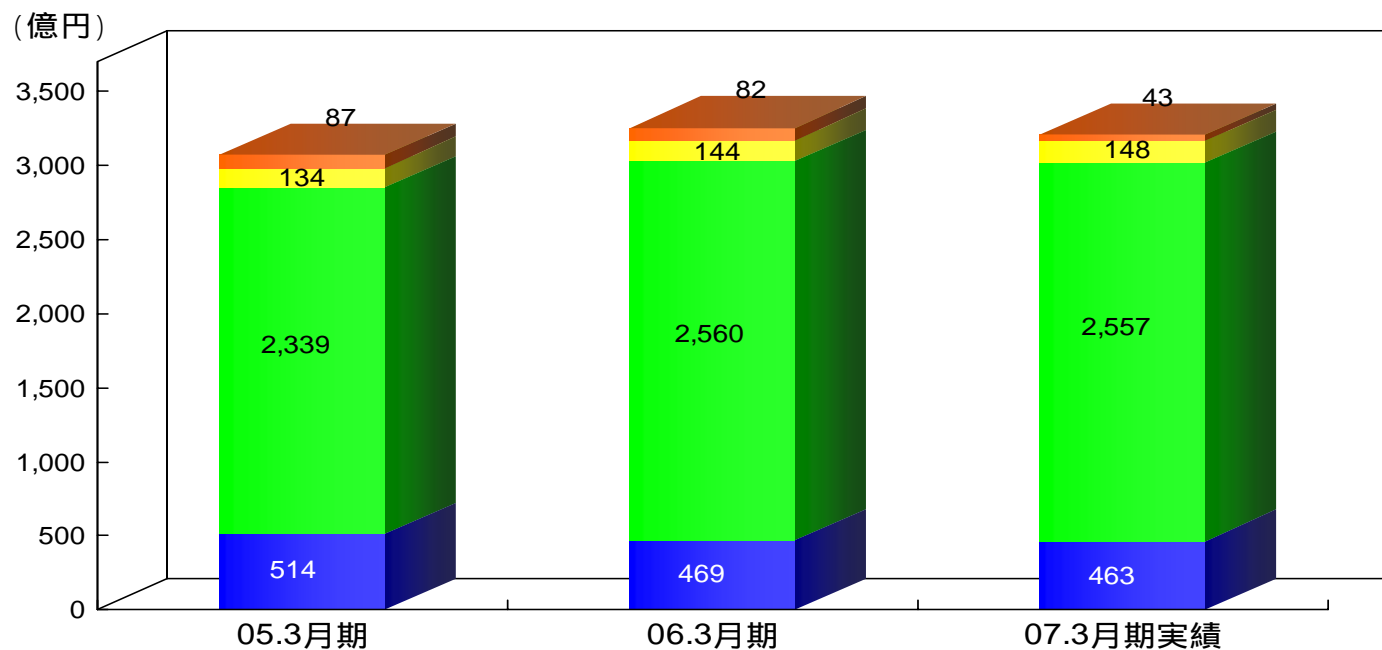
2. 利益(実績)

水産事業の原料価格の転嫁困難。

国内各加工食品の販促費増。



セグメント別売上高



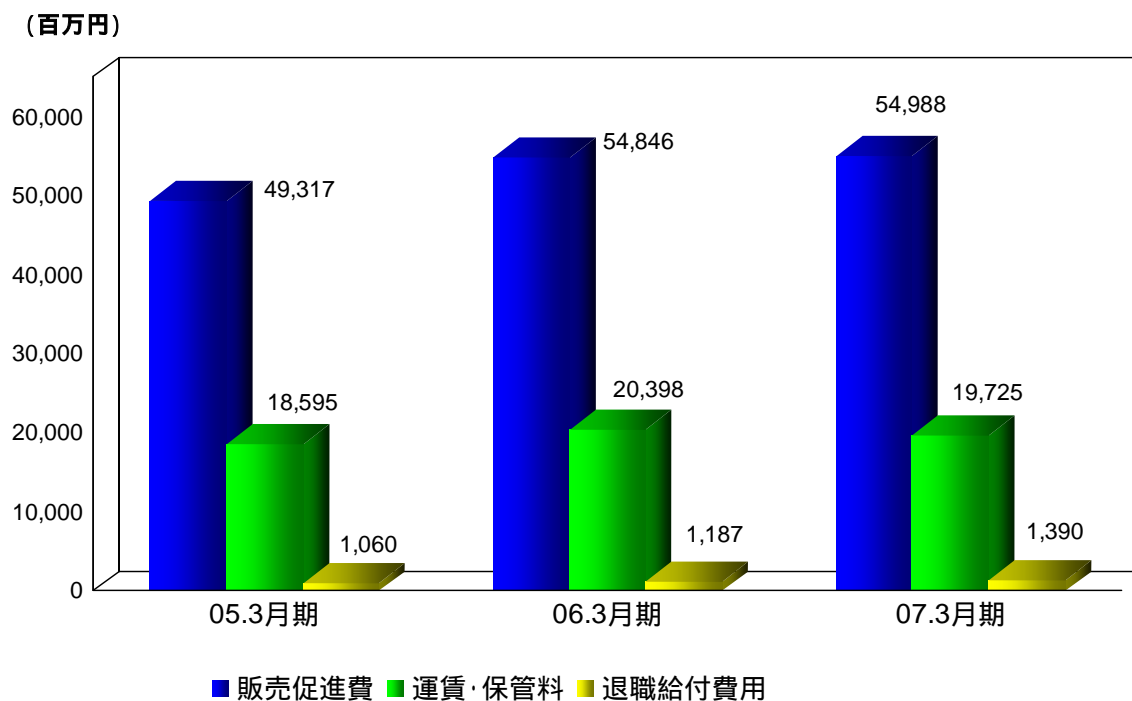
■ 魚介類部門 ■ 加工食品部門 ■ 冷蔵庫部門 ■ その他部門

(計画比)

魚介類	計画比	- 1.3%	(前年比	- 1.3%)
加工食品	計画比	- 3.1%	(前年比	- 0.1%)
冷蔵庫	計画比	- 1.1%	(前年比	+ 2.6%)



連結損益計算書関連推移



(ポイント)

・販売促進費の抑制傾向



連結決算予想

(単位:百万円)

	07.3期実績	08.3期計画	前年比
売上高	321,356	330,000	102.7%
営業利益	19,570	19,800	101.2%
経常利益	21,521	22,000	102.2%
当期純利益	6,465	12,000	185.6%

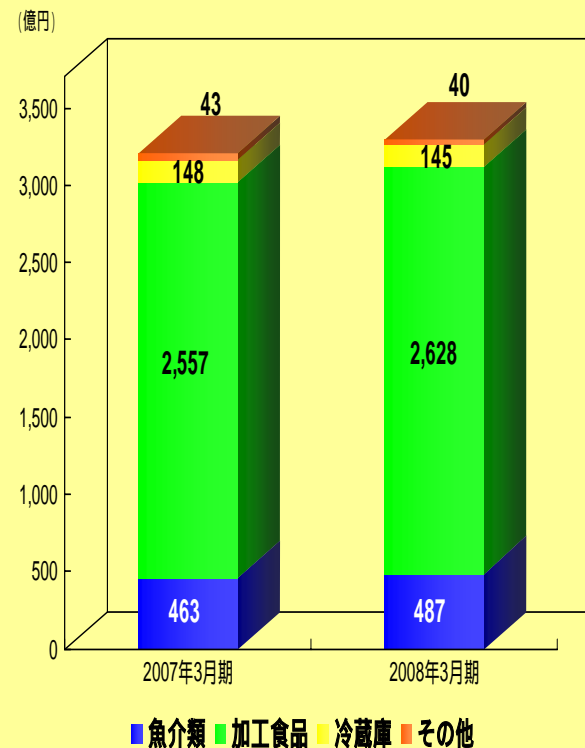
[ポイント]

国内即席麺、北米即席麺 原料高による影響

水産事業の利益回復

冷蔵庫事業の利益拡大継続

セグメント売上高予想





国内加工食品部門

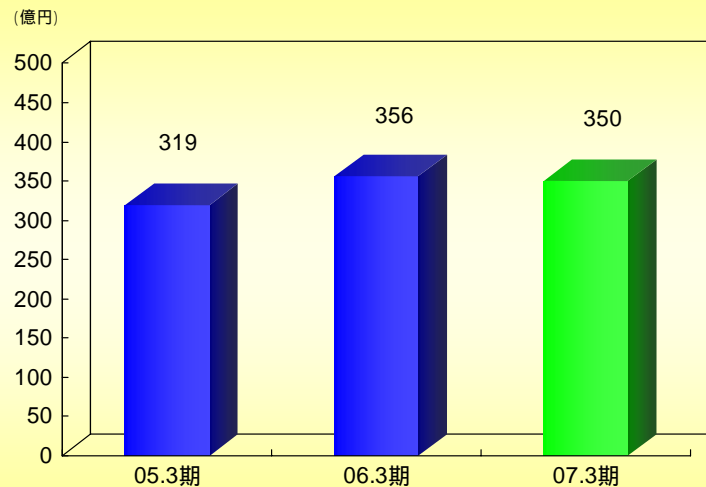
即席麺 和風麺等既存ブランド強化・育成



新発売



即席和風カップ麺売上高推移



生麺 主力品の底上げとコラボレーション商品によりの拡大



米飯類・スープ類の拡売



無菌第2ライン2006.7月稼動



水産部門

< 水産を取り巻く環境 >

- ・世界的な魚食の普及

原料価格高騰

< 当社の状況 >

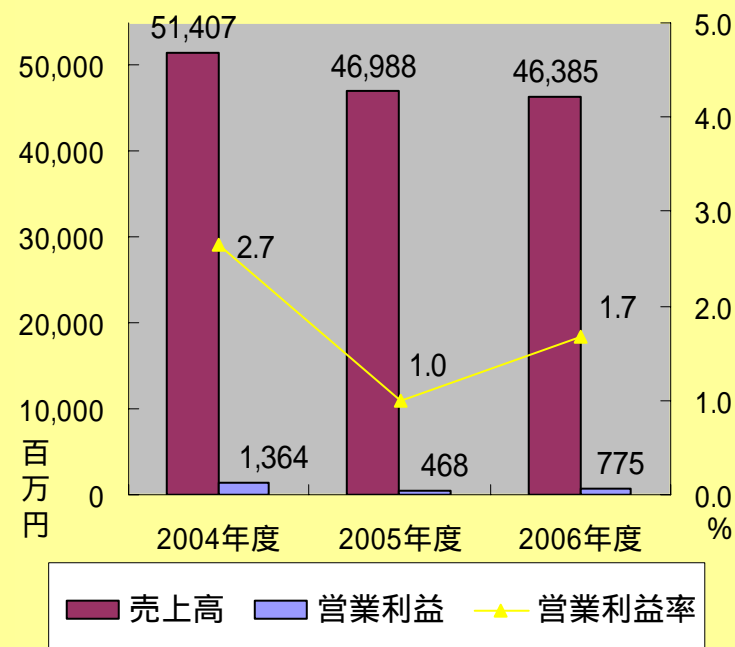
- ・取扱い魚種の見直し

鮭鱒、魚卵等高付加価値加工品へシフト

- ・輸入原料価格高騰

原料平均35%上昇、数量27%下落

売上高利益推移





冷蔵倉庫部門

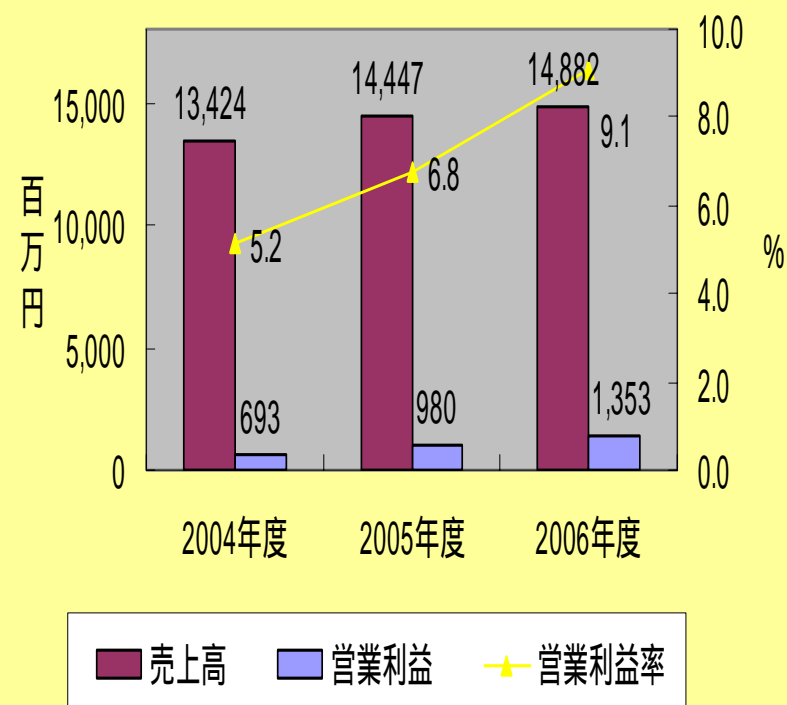
< 冷蔵庫を取り巻く環境 >

- ・米国产牛肉の輸入が増えない
- ・欧州・中国の魚買付け拡大による
水産物の輸入減少
- ・原料貨物から加工品貨物へのシフト
(かさ高貨物の増加)

< 当社の状況 >

- ・かさ高貨物の料金改定
- ・高収入貨物への転換

売上高利益推移





当社を取り巻く環境について

1. 即席麺業界の再編

< 現状 > シェア等を見る限り、競合環境に大きな変化は見られない。

< 今後 > 継続して状況を注視。

自主独往の精神で社業にまい進。

2. 国内加工食品事業の利益率向上

即席麺新工場の建設による集中生産、ラインの省力化及び
スピードアップによる利益増大

品質・安全・環境に配慮した信頼性の高い生産拠点



即席麺新工場について

- ・即席麺製造工場10工場
7工場
- ・2008年夏 用地取得・建設開始
- ・2009年夏 新工場稼動開始
- ・2010年度 集約完了

即席麺生産拠点





株主様還元について

平成19年3月期配当 中間8円実施済み 期末12円予定
合計20円予定 (昨年同額)

平成20年3月期配当 中間10円 期末10円
合計20円

合計20円を予想といたしますが、業績の達成度をみながら増配を検討

自社株買い付けについては、検討課題と考えておりますが、株価の動向等を考えながら検討して参りたいと考えております。



米国即席麺事業 業績概要

(単位:万ドル)

	当期 4/01/06 ~ 3/31/07		昨年比	前期 4/01/05 ~ 3/31/06	
	金額	構成比		金額	構成比
売上高 (N E T)	44,954	100.0%	98.4%	45,668	100.0%
営業利益	4,054	9.0%	84.2%	4,816	10.5%
経常利益	5,126	11.4%	94.3%	5,436	11.9%
純利益	3,313	7.4%	94.7%	3,500	7.7%



米国即席麺事業 2007年度売上高・収支計画

(単位 万ドル)

	2006年度	2007年度	前年比
NET売上高	44,954	42,643	94.9%
経常利益	5,126	4,500	87.8%